

標準型救急車の高規格化改造（EN風）

（概要版）

お問い合わせが多いようですので、大まかな概要だけ先行で掲載させていただきます。



標準型救急車（通称2B型）の高規格化改造の別事例です。

ご存じバテンバーグ・マーキングをモチーフにアルザしました。
車枠全体が判るように施工するのもポイント。

前側の赤色は、無反射材で施工してあります。

本車両は、斜めからでも反射し易い材料を選んでいますので
‘再帰性に富んだ’よりも、斜めからの反射は明るいのです。
その他、反射していない時の安全性を高める工夫も
しています。昼間も目立つ必要がありますからね。



縁取りの他、側面部は、ヘッドライトの光軸上で反射させる
ENに則った安全ポイントです。右車両との差が歴然です。
‘赤帯’部の反射だけでは、不十分であることも判ります。

学術研究では、赤色反射材よりも白色反射材の方が、
反射効率が高いことも解っております。

詳しくは、先日公表されガイドラインを参照下さい。
※弊社ではバテンバーグマーキングの普及に協力しております。



内装はこんな感じです。（※こちらは同仕様の別車両）
FERNOイントラックスシステムを上下2段取付けました。
医療機器画面は、垂直になるようにしてあります。

（日本では一般救急車への前例が無いため、多数の海外の方々から
親切にご指導を頂きイントラックス装着を実現できました。大変感謝です。）

情報モニターは右前に2基。HDMI端子付きです。
運転室内には、BGANと接続するWi-Fiルーターを装備し、
EMIS環境を整えます。

些細なことですが、ゴミ箱は皆で使えるように真ん中に設置。



左座席に全跳ね上げシート改造を施しましたので、
FERNOイントラックスシステムとの相乗効果で
一般的な高規格救急車よりも広く活動し易いです。
腰付近に空間が出来るから動き易いのだと思います。
左側胸部ドレナージとか、やり易くなっていると思います。
（防振架台を中央位置にスライドしてあります）
勿論、床面は全部コーキング増し。
車内で開胸しても後の清掃性は良いです。

※内装は、ちょっとオシャレに水色系で統一しました。
統一感のため、ハイテクバックボードも青色を選択しています。
やっぱり、見た目も大事ですからね。